カルタヘナ法（遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成15年法律第97号））に基づき、生物多様性影響が生ずるおそれがないものとして環境大臣及び農林水産大臣が第一種使用規程を承認した遺伝子組換え農作物は以下のとおりです。

カルタヘナ法に基づく第一種使用規程が承認された遺伝子組換え農作物一覧（作物別、承認順）

（平成21年1月29日現在）

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
アルファルファ	1	除草剤グリホサート耐性アルファルファ （*cp4 epsps, Medicago sativa* L.） （J101, OECD UI: MON-00101-8） 【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2006年2月10日	2005	2006
	2	除草剤グリホサート耐性アルファルファ （*cp4 epsps, Medicago sativa* L.） （J163, OECD UI: MON-00163-7） 【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2006年2月10日	2005	2006
	3	除草剤グリホサート耐性アルファルファ （*cp4 epsps*×*cp4 epsps, Medicago sativa* L.） （J101×J163, OECD UI: MON-00101-8×MON-00163-7） 【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2006年2月10日	2005	2006
イネ	1	高トリプトファン含量イネ （*OASA1D, Oryza sativa* L.） （HW1） 【独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構　作物研究所】	○					2004年6月11日 （使用期間： 2004.6.11～ 2005.7.30）	—	—
	2	高トリプトファン含量イネ （*OASA1D, Oryza sativa* L.） （HW5） 【独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構　作物研究所】	○					2004年6月11日 （使用期間： 2004.6.11～ 2005.7.30）	—	—
	3	半矮性イネ （*OsGA2ox1, Oryza sativa* L.） （G-3-3-22） 【独立行政法人農業生物資源研究所】	○					2004年6月11日 （使用期間： 2004.6.11～ 2005.3.31）	—	—
	4	直立葉半矮性イネ （*ΔOsBRI1, Oryza sativa* L.） （B-4-1-18） 【独立行政法人農業生物資源研究所】	○					2004年6月11日 （使用期間： 2004.6.11～ 2005.3.31）	—	—
	5	鉄欠乏耐性イネ （*HvNAS1, Oryza sativa* L.） （gHvNAS11-1） 【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 （使用期間： 2005.4.25～ 2007.3.31）	—	—
	6	鉄欠乏耐性イネ （*HvNAAT-A, HvNAAT-B, Oryza sativa* L） （gHvNAAT1） 【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 （使用期間： 2005.4.25～ 2007.3.31）	—	—
	7	鉄欠乏耐性イネ （*HvIDS3, Oryza sativa* L.） （gHvIDS3-1） 【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 （使用期間： 2005.4.25～ 2007.3.31）	—	—
	8	鉄欠乏耐性イネ （*HvNAS1, HvNAAT-A, HvNAAT-B, Oryza sativa* L.） （gHvNAS1-gHvNAAT1） 【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 （使用期間： 2005.4.25～ 2007.3.31）	—	—
	9	鉄欠乏耐性イネ （*APRT, Oryza sativa* L.） （I3pAPRT1） 【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 （使用期間： 2005.4.25～ 2007.3.31）	—	—
	10	鉄欠乏耐性イネ （*HvNAS1, HvNAAT-A, APRT, Oryza sativa* L.） （I3pNasNaatAprt1） 【国立大学法人東北大学】	○					2005年4月25日 （使用期間： 2005.4.25～ 2007.3.31）	—	—
	11	スギ花粉症予防効果ペプチド含有イネ （*7Crp, Oryza sativa* L.） （7Crp＃10） 【独立行政法人農業生物資源研究所】	○					2005年5月25日 （使用期間： 2005.5.25～ 2007.12.31）	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
イネ（続き）	12	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ （*DEF, Oryza sativa* L.） （AD41） 【独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 （使用期間： 2005.5.25～ 2006.10.31）	―	―
	13	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ （*DEF, Oryza sativa* L.） （AD48） 【独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 （使用期間： 2005.5.25～ 2006.10.31）	―	―
	14	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ （*DEF, Oryza sativa* L.） （AD51） 【独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 （使用期間： 2005.5.25～ 2006.10.31）	―	―
	15	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ （*DEF, Oryza sativa* L.） （AD77） 【独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 （使用期間： 2005.5.25～ 2006.10.31）	―	―
	16	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ （*DEF, Oryza sativa* L.） （AD97） 【独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構】	○					2005年5月25日 （使用期間： 2005.5.25～ 2006.10.31）	―	―
	17	半矮性イネ （*OsGA2ox1, Oryza sativa* L.） （G-3-3-22） 【独立行政法人農業生物資源研究所】	○					2005年5月25日 農業生物資源研究所ほ場に限定	―	―
	18	直立葉半矮性イネ （*Δ OsBRI1, Oryza sativa* L.） （B-4-1-18） 【独立行政法人農業生物資源研究所】	○					2005年5月25日 農業生物資源研究所ほ場に限定	―	―
	19	スギ花粉症予防効果ペプチド含有イネ （*7Crp, Oryza sativa* L.） （7Crp＃10） 【独立行政法人農業生物資源研究所】	○					2007年6月26日 農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所及び農業生物資源研究所ほ場に限定	―	―
	20	スギ花粉ペプチド含有イネ （*7Crp, Oryza sativa* L.） （7Crp #242-95-7） 【独立行政法人農業生物資源研究所】	○					2007年7月19日 （使用期間： 2007.7.19～ 2010.3.31）	―	―
カーネーション	1	青紫色カーネーション123.2.2 （*F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus* L.） （OECD UI: FLO-40619-7） 【サントリー株式会社】		○			○	2004年6月1日	―	―
	2	青紫色カーネーション11 （*F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus* L.） （OECD UI: FLO-07442-4） 【サントリー株式会社】		○			○	2004年12月10日	―	―
	3	青紫色カーネーション11363 （*F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus* L.） （OECD UI: FLO-11363-1） 【サントリー株式会社】		○			○	2004年12月10日	―	―
	4	青紫色カーネーション123.2.38 （*F3'5'H, DFR, Dianthus caryophyllus* L.） （OECD UI: FLO-40644-4） 【サントリー株式会社】		○			○	2004年12月10日	―	―
	5	青紫色カーネーション123.8.8 （*F3'5'H, DFR, Diathus caryophyllus* L.） （OECD UI: FLO-40685-1） 【サントリー株式会社】		○			○	2004年12月10日	―	―
	6	青紫色カーネーション123.8.12 （*F3'5'H, DFR, sur*B, *Dianthus caryophyllus* L.） (OECD UI: FLO-40689-6) 【サントリー株式会社】	○					2007年11月6日 （使用期間： 2007.11.6～ 2009.5.31）	―	―

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
カーネーション（続き）	7	青紫色カーネーション （*F3'5'H, DFR, sur*B, *Dianthus caryophyllus* L. ） (123.8.12, OECD UI: FLO-40689-6) 【ｻﾝﾄﾘｰ株式会社】		○			○	2009年1月29日	―	―
セイヨウナタネ	1	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ （*cp4 epsps, gox, Brassica napus* L.） （RT73, OECD UI: MON-00073-7） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2006年3月10日	2001	2003
	2	除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ （*cp4 epsps, gox, Brassica napus* L.） （RT200, OECD UI: MON-89249-2） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2006年5月29日	2001	2003
	3	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネ （*bar, barnase, Brassica napus* L.） （MS8, OECD UI: ACS-BN005-8） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】		○	○	○		2006年9月22日	2001	2003
	4	除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性セイヨウナタネ （改変*bar, barstar, Brassica napus* L.） （RF3, OECD UI: ACS-BN003-6） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】		○	○	○		2007年4月24日	2001	2003
	5	除草剤グルホシネート耐性セイヨウナタネ （*pat, Brassica napus* L.） （Topas19/2, OECD UI: ACS-BN007-1） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】		○	○	○		2007年5月17日	2001	2003
	6	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ （改変*bar, barnase, barstar, Brassica napus* L.） （MS8RF3, OECD UI: ACS-BN005-8×ACS-BN003-6） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】		○	○	○		2007年8月23日	2001	2003
	7	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ （改変*bar, barnase, barstar, Brassica napus* L.） (MS1RF1, OECD UI: ACS-BN004-7×ACS-BN001-4) 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】			○	○		2007年8月23日	2001	2003
	8	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復性セイヨウナタネ （改変*bar, barnase, barstar, Brassica napus* L.） （MS1RF2, OECD UI: ACS-BN004-7×ACS-BN002-5） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】			○	○		2007年8月23日	2001	2003
	9	除草剤グルホシネート耐性セイヨウナタネ （*pat, Brassica napus* L.） (T45, OECD UI: ACS-BN008-2) 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】		○	○	○		2007年11月6日	2001	2003
	10	除草剤ブロモキシニル耐性セイヨウナタネ （*oxy*, *Brassica napus* L.） (OXY-235, OECD UI: ACS-BN011-5) 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】		○	○	○		2008年9月18日	2001	2003
ダイズ	1	除草剤グリホサート耐性ダイズ （*cp4 epsps, Glycine max* (L.) Merr.） （40-3-2, OECD UI: MON-04032-6） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2005年5月25日	2001	2003
	2	除草剤グリホサート耐性ダイズ （*cp4 epsps, Glycine max* (L.) Merr.） （MON89788-1） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】	○					2006年5月2日 （使用期間： 2006.5.2～ 2007.1.31）	―	―
	3	除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ （*gat,gm-hra, Glycine max* (L.) Merr.） （DP-356043-5,OECD UI: DP-356043-5） 【ﾃﾞｭﾎﾟﾝ株式会社,ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ ｼｰﾄﾞ株式会社】	○					2006年7月5日 （使用期間： 2006.7.5.～ 2007.3.31）	―	―

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
ダイズ（続き）	4	除草剤グルホシネート耐性ダイズ （*pat, Glycine max* (L.) Merr.） （A2704-12, OECD UI: ACS-GM005-3 ） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】			○	○		2006年11月24日	2002	2003
	5	除草剤グルホシネート耐性ダイズ （*pat, Glycine max* (L.) Merr.） （A5547-127, OECD UI: ACS-GM006-4） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】			○	○		2006年11月24日	2002	2003
	6	高オレイン酸ダイズ （*GmFad2-1, Glycine max* (L.) Merr.） （260-05, OECD UI: DD-026005-3） 【ﾃﾞｭﾎﾟﾝ株式会社】			○	○		2007年4月24日	2001	2003
	7	高オレイン酸含有及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ （*gm-fad2-1, gm-hra, Glycine max* (L.) Merr.） （DP-305423-1, OECD UI: DP-305423-1） 【ﾃﾞｭﾎﾟﾝ株式会社】	○					2007年5月30日 （使用期間： 2007.5.30～ 2009.3.31）	—	—
	8	除草剤グリホサート耐性ダイズ （改変*cp4 epsps, Glycine max* (L.) Merr） （MON89788, OECD UI:MON-89788-1） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2008年1月31日	2007	2007
	9	ステアリドン酸産生ダイズ （改変Pj.D6D, 改変Nc.Fad3, Glycine max (L.) Merr.） （MON87769, OECD UI: MON-87769-7） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】	○					2008年7月24日 （使用期間： 2008.7.24～ 2010.1.31）	—	—
	10	イミダゾリノン系除草剤耐性ダイズ （改変csr1-2, Glycine max (L.) Merr.） （CV127, OECD UI: BPS-CV127-9） 【BASFアグロ株式会社】	○					2008年7月24日 （使用期間： 2008.7.24～ 2010.3.31）	—	—
	11	高オイルダイズ （*dgat2A*, *Glycine max* (L.) Merr.） （MON87754, OECD UI: MON-87754-1） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】	○					2008年9月18日 （使用期間： 2008.9.18～ 2010.1.31）	—	—
テンサイ	1	除草剤グリホサート耐性テンサイ （*cp4 epsps, Beta vulgaris* L. subsp. *vulgaris var. altissima*） （H7-1,OECD UI: KM-000H71-4） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】	○					2005年5月25日 （使用期間： 2005.5.25～ 2005.12.31）	2003	—
	2	除草剤グリホサート耐性テンサイ （*cp4 epsps, Beta vulgaris* L. subsp. *vulgaris var. altissima*） （H7-1,OECD UI: KM-000H71-4） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2007年4月24日	2003	2005
トウモロコシ	1	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ （*cry1Ab, Zea mays* L.） （MON810, OECD UI：MON-00810-06） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2004年6月1日	2001	2003
	2	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ （*cry3Bb1, Zea mays* L. ） （MON863, OECD UI: MON-00863-5） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2004年6月1日	2002	2003
	3	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ （*cry1Ab, cry3Bb1, Zea mays* L.） （MON810×MON863, OECD UI: MON-00810-6×MON-00863-5） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2004年6月11日	2004	2004
	4	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （*cry1F, pat, Zea mays* L. ） （TC6275, OECD UI: DAS-06275-8） 【ﾀﾞｳ・ｹﾐｶﾙ日本株式会社】	○					2004年6月11日 （使用期間： 2004.6.11～ 2005.3.31）	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
トウモロコシ（続き）	5	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（*cp4 epsps, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（NK603, OECD UI: MON-00603-6）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	2001	2003
	6	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（*pat, Zea mays* subsp.*mays* (L.) Iltis）（T25, OECD UI: ACS-ZM003-2）【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	2001	2003
	7	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ（*cp4 epsps, cry1Ab, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（NK603×MON810, OECD UI: MON-00603-6×MON- 00810-6）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	2003	2002
	8	コウチュウ目及びチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（*cry3Bb1, cry1Ab, cp4 epsps, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（MON863×MON810×NK603, OECD UI: MON-00863-5×MON-00810-6×MON-00603-6）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年11月22日	2004	2004
	9	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（*cry3Bb1, cp4 epsps, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（MON863×NK603, OECD UI: MON-00863-5×MON-00603-6）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年12月10日	2003	2003
	10	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（*cry1F,pat, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（*B.t.* Cry1F maize line 1507, OECD UI: DAS-01507-1）【デュポン株式会社】		○	○	○		2005年3月2日	2002	2003
	11	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（*cry1F, pat, cp4 epsps, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（1507×NK603, OECD UI: DAS-01507-1×MON-00603-6）【デュポン株式会社】		○	○	○		2005年3月25日	2004	2003
	12	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ（*mcry3Aa2, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（MIR604, OECD UI: SYN-IR604-5）【シンジェンタ シードー株式会社】	○					2005年5月25日（使用期間：2005.5.25～2006.3.31）	—	—
	13	耐熱性αアミラーゼ産生トウモロコシ（*amy797E, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（3272, OECD UI: SYN-E3272-5）【シンジェンタ シードー株式会社】	○					2005年5月25日（使用期間：2005.5.25～2006.3.31）	—	—
	14	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（*mEPSPS, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（GA21, OECD UI: MON-00021-9）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2005年11月25日	2001	2003
	15	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ（*pat,cry1Ab, Zea mays* subsp.*mays* (L.) Iltis）（T25×MON810, OECD UI: ACS-ZM003-2×MON-00810-6）【デュポン株式会社】		○	○	○		2005年11月25日	2003	2001
	16	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ（*mEPSPS, cry1Ab, Zea mays* subsp.*mays* (L.) Iltis）（GA21×MON810, OECD UI: MON-00021-9×MON-00810-6）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2005年11月25日	2003	2001

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
トウモロコシ（続き）	17	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （*pat, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （T14, OECD UI: ACS-ZM002-1） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】			○	○		2006年2月10日	2001	2005
	18	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （*cry34Ab1, cry35Ab1, pat, Zea mays* subsp *mays* (L.) Iltis） （*B.t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7, OECD UI: DAS-59122-7） 【ﾃﾞｭﾎﾟﾝ株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	2005	2006
	19	除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ （*cp4 epsps, cry3Bb1, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （MON88017, OECD UI: MON-88017-3） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	2005	2006
	20	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （*bar, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （DLL25, OECD UI: DKB-89790-5） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	2001	2003
	21	除草剤グリホサート耐性並びにコウチュウ目及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ （*cp4 epsps, cry3Bb1, cry1Ab, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （MON88017×MON810, OECD UI: MON-88017-3×MON-00810-6） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	2005	2006
	22	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （*cry1F,cry34Ab1,cry35Ab1,pat,Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （1507×59122, OECD UI: DAS-01507-1×DAS-59122-7） 【ﾃﾞｭﾎﾟﾝ株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	2005	2006
	23	コウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ （*cry34Ab1, cry35Ab1, pat, cp4 epsps, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （59122×NK603, OECD UI: DAS-59122-7×MON-00603-6） 【ﾃﾞｭﾎﾟﾝ株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	2005	2006
	24	コウチュウ目及びチョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ （*cry34Ab1, cry35Ab1, cry1F, pat, cp4 epsps, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （59122×1507×NK603, OECD UI: DAS-59122-7×DAS-01507-1×MON-00603-6） 【ﾃﾞｭﾎﾟﾝ株式会社】		○	○	○		2006年4月10日	2005	2006
	25	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ （*cry1A105, cry2Ab2, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （MON89034） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】	○					2006年5月2日 （使用期間： 2006.5.2～ 2007.1.31）	—	—
	26	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （*cry1F, pat, Zea mays* L.） （TC6275, OECD UI: DAS-06275-8） 【ﾀﾞｳ・ｹﾐｶﾙ日本株式会社】	○					2006年5月29日 （使用期間： 2006.529.～ 2007.3.31）	—	—
	27	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （*cry1Ab, pat, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （Bt10） 【ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ ｼｰﾄﾞ株式会社】	○					2006年7月5日 （使用期間： 2006.7.5.～ 2008.3.31）	—	—

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
トウモロコシ（続き）	28	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（*cry1Ac, bar, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（DBT418, OECD UI: DKB-89614-9）【日本モンサント株式会社】			○	○		2007年1月29日	2001	2003
	29	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（改変*cry1Ab, pat, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）(Bt11, OECD UI: SYN-BT011-1)【シンジェンタ シード株式会社】		○	○	○		2007年4月24日	2001	2003
	30	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（改変*cry1Ab, bar, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（Event176, OECD UI: SYN-EV176-9）【シンジェンタ シード株式会社】		○	○	○		2007年5月17日	2003	2003
	31	除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性トウモロコシ（*gat4621, zm-hra, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（DP-098140-6, OECD UI: DP-098140-6）【デュポン株式会社】	○					2007年5月30日（使用期間：2007.5.30～2009.3.31）	—	—
	32	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ（改変*vip3A, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（MIR162, OECD UI: SYN-IR162-4）【シンジェンタ シード株式会社】	○					2007年7月19日（使用期間：2007.7.19～2009.3.31）	—	—
	33	高リシン(lysine)トウモロコシ（*cordapA, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（LY038, OECD UI: REN-00038-3）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2007年8月23日	2007	2007
	34	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ（*mcry3Aa2, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（MIR604, OECD UI: SYN-IR604-5）【シンジェンタ シード株式会社】		○	○	○		2007年8月23日	2007	2007
	35	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ（改変*cry1Ab, pat, mEPSPS, Zea may* subsp. *mays*(L.)Itlis）(Bt11×GA21, OECD UI: SYN-BT011-1×MON-00021-9)【シンジェンタ シード株式会社】		○	○	○		2007年11月6日	2007	2007
	36	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサホート耐性トウモロコシ（改変*cry3Aa2, mEPSPS, Zea mays* subsp. *mays*(L.)Iltis）(MIR604×GA21, OECD UI: SYN-IR604-5×MON-00021-9)【シンジェンタ シード株式会社】		○	○	○		2007年11月6日	2007	2007
	37	高リシン及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ（*cordapA, cry1Ab, Zea mays* subsp. *mays* (L.)Iltis）(LY038×MON810, OECD UI: REN-00038-3×MON-00810-6)【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2007年11月20日	2007	2007
	38	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（改変*cry1F*, 改変*bar, Zea mays* subsp. *mays*(L.)Iltis）（TC6275, OECD UI: DAS-06275-8）【ダウ・ケミカル日本株式会社】		○	○	○		2008年1月31日	2007	2007
	39	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ（*cry1A.105*, 改変*cry2Ab2, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis）（MON89034, OECD UI:MON-89034-3）【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2008年1月31日	2007	2007

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
トウモロコシ（続き）	40	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ （改変*cry1Ab*，改変*cry3Aa2*，*pat*，*Zea mays* subsp. *mays*(L.)Iltis） (Bt11×MIR604, OECD UI: SYN-BT011-1×SYN-IR604-5) 【ｼﾝｼﾞｪﾝﾀｼｰﾄﾞ株式会社】		○	○	○		2008年8月18日	2007	2007
	41	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ （改変*cry1Ab*, 改変*cry3Aa2, pat, mEPSPS, Zea mays* subsp. *mays*(L.)Iltis） (Bt11×MIR604×GA21, OECD UI: SYN-BT011-1×SYN-IR604-5×MON-00021-9) 【ｼﾝｼﾞｪﾝﾀｼｰﾄﾞ株式会社】		○	○	○		2008年8月18日	2007	2007
	42	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ （*cry1A.105*，改変*cry2Ab2*，改変*cp4 epsps*，改変*cry3Bb1*，*Zea mays* subsp.*mays*（L.)Iltis） (MON89034×MON88017,OECD UI: MON-89034-3×MON-88017-3) 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2008年10月14日	2008	2007
	43	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ （*cry1A.105*，改変*cry2Ab2*，改変*cp4 epsps*，*Zea mays* subsp. *mays*（L.)Iltis） （MON89034×NK603, OECD UI: MON-89034-3×MON-00603-6） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】		○	○	○		2008年10月14日	2008	2007
バラ	1	フラボノイド生合成経路を改変したバラ WKS82/130-4-1 （*F3' 5' H, 5AT, Rosa hybrida*） （OECD UI: IFD-52401-4） 【ｻﾝﾄﾘｰ株式会社】	○					2006年5月2日 （使用期間： 2006.5.2～ 2010.12.31）	―	―
	2	フラボノイド生合成経路を改変したバラ WKS82/130-9-1 （*F3' 5' H, 5AT, Rosa hybrida*） （OECD UI: IFD-52901-9） 【ｻﾝﾄﾘｰ株式会社】	○					2006年5月2日 （使用期間： 2006.5.2～ 2010.12.31）	―	―
	3	フラボノイド生合成経路を改変したバラ （*F3'5'H, 5AT, Rosa hybrida*） （WKS82/130-4-1,OECD UI: IFD-52401-4） 【ｻﾝﾄﾘｰ株式会社】		○			○	2008年1月31日	―	―
	4	フラボノイド生合成経路を改変したバラ （*F3'5'H, 5AT, Rosa hybrida*） （WKS82/130-9-1,OECD UI: IFD-52901-9） 【ｻﾝﾄﾘｰ株式会社】		○			○	2008年1月31日	―	―
クリーピングベントグラス	1	除草剤グリホサート耐性クリーピングベントグラス （*cp4 epsps,Agrostis stolonifera* L.） （ASR368, OECD UI: SMG-36800-2） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】	○					2004年12月10日 （使用期間： 2004.12.10～ 2005.11.30）	―	―
ワタ	1	除草剤グリホサート耐性ワタ （*cp4 epsps, Gossypium hirsutum* L.） （MON88913） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】	○					2004年6月11日 （使用期間： 2004.6.11～ 2004.12.31）	―	―
	2	除草剤グリホサート耐性ワタ （*cp4 epsps, Gossypium hirsutum* L.） （1445, OECD UI: MON-01445-2） 【日本ﾓﾝｻﾝﾄ株式会社】			○	○		2004年11月22日	2001	2003

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
ワタ（続き）	3	チョウ目害虫抵抗性ワタ （*cry1Ac,Gossypium hirsutum* L.） （531, OECD UI: MON-00531-6） 【日本モンサント株式会社】			○	○		2004年11月22日	2001	2003
	4	チョウ目害虫抵抗性ワタ （*cry1Ac, cry2Ab, Gossypium hirsutum* L.） （15985, OECD UI: MON-15985-7） 【日本モンサント株式会社】			○	○		2004年12月10日	2002	2003
	5	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ （*cp4 epsps,cry1Ac, Gossypium hirsutum* L.） （1445×531, OECD UI: MON-01445-2×MON-00531-6） 【日本モンサント株式会社】			○	○		2004年12月10日	2003	2003
	6	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性ワタ （*cry1AC,cry2Ab,cp4 epsps, Gossypium hirsutum* L.） （15985×1445, OECD UI: MON-15985-7×MON-01445-2） 【日本モンサント株式会社】			○	○		2005年3月2日	2003	2003
	7	チョウ目害虫抵抗性ワタ （*cry1Ac, Gossypium hirsutum* L.） （757, OECD UI: MON-00757-7） 【日本モンサント株式会社】			○	○		2005年3月25日	2001	2003
	8	除草剤グルホシネート耐性ワタ （*bar, Gossypium hirsutum* L.） （LLCotton25, OECD UI: ACS-GH001-3） 【バイエルクロップサイエンス株式会社】			○	○		2006年2月10日	2004	2006
	9	除草剤グリホサート耐性ワタ （*cp4 epsps, Gossypium hirsutum* L.） （MON88913, OECD UI: MON-88913-8） 【日本モンサント株式会社】			○	○		2006年2月10日	2005	2006
	10	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ （*cp4 epsps, cry1Ac, cry2Ab, Gossypium hirsutum* L.） （MON88913×15985, OECD UI: MON-88913-8×MON-15985-7） 【日本モンサント株式会社】			○	○		2006年2月10日	2005	2006
	11	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ワタ （*cry1F, cry1Ac , pat, Gossypium hirsutum* L.） （281×3006, OECD UI: DAS-24236-5×DAS-21023-5） 【ダウ・ケミカル日本株式会社】			○	○		2006年4月10日	2005	2006
	12	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ （*cry1F, cry1Ac, pat, cp4 epsps, Gossypium hirsutum* L.） （281×3006×1445, OECD UI: DAS-24236-5×DAS-21023-5×MON-01445-2） 【ダウ・ケミカル日本株式会社】			○	○		2006年6月12日	2006	2006
	13	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ （*cry1F, cry1Ac, pat, cp4 epsps, Gossypium hirsutum* L.） （281×3006×MON88913, OECD UI: DAS-24236-5×DAS-21023-5×MON-88913-8） 【ダウ・ケミカル日本株式会社】			○	○		2006年6月12日	2006	2006

作物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性の確認状況	
			隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
ワタ（続き）	14	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ （改変*bar*,改変*cry1AC,cry2Ab, Gossypium hirsutum* L.） （LLCotton25×15985, OECD UI: ACS-GH001-3×MON-15985-7） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】			○	○		2007年1月29日	2006	2006
	15	チョウ目害虫抵抗性ワタ （改変*cry1Ab, Gossypium hirsutum* L.） （COT67B, OECD UI: SYN-IR67B-1） 【ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ ｼｰﾄﾞ株式会社】	○					2007年5月30日 （使用期間： 2007.5.30～ 2009.3.31）	―	―
	16	チョウ目害虫抵抗性ワタ （改変*vip3A, Gossypium hirsutum* L.） （COT102, OECD UI: SYN-IR102-7） 【ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ ｼｰﾄﾞ株式会社】	○					2007年5月30日 （使用期間： 2007.5.30～ 2009.3.31）	―	―
	17	除草剤グリホサート耐性ワタ （*2mepsps, Gossypium hirsutum* L.） （GHB614, OECD UI: BCS-GH002-5） 【ﾊﾞｲｴﾙｸﾛｯﾌﾟｻｲｴﾝｽ株式会社】	○					2008年5月30日 （使用期間： 2008.5.30～ 2010.5.31）	―	―
10	118		43	55	67	67	8			

注1：名称の（）内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2：名称の（）内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3：第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4：「（参考）他の安全性確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法（飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律）に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「－」は未確認を、「不要」は対象外を示すものです。

注5：最下欄は、各項目の合計件数を示すものです。

参考：承認された遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス（J-BCH）のLMO関連情報（http://www.bch.biodic.go.jp/bch_3.html）から検索できます。

経過措置適用遺伝子組換え農作物一覧

（平成21年1月29日現在）

作物名	名称及び承認取得者	経過措置の内容		（参考）他の安全性の確認状況	
		栽培	輸入及び流通	食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
トウモロコシ	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ （*bar, cry9C, Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis） （CBH351） 【ｽﾀｰﾘﾝｸﾛｼﾞｽﾃｯｸｲﾝｺｰﾎﾟﾚｰﾃｯﾄﾞ社】		○	―	―
パパイヤ	パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ （*cp, Carica papaya* L.） （55-1） 【ﾊﾜｲﾊﾟﾊﾟｲﾔ協会】		○	審査中	―

注：「経過措置適用遺伝子組換え農作物」とは、法施行時（平成16年2月19日）において、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」（平成元年4月20日付け農林水産事務次官依命通知）に基づく環境安全性が確認され使用がされていたもので、経過措置期間内に承認申請がされたものです。

また、当該承認申請については、承認の可否が決定されるまでの間、その使用についてカルタヘナ法附則第2条により、第一種使用等に係る承認がなされたものとみなすものです。

カルタヘナ法（遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成１５年法律第９７号））に基づき、生物多様性影響が生ずるおそれがないものとして環境大臣及び農林水産大臣が第一種使用規程を承認した遺伝子組換え林木は以下のとおりです。

カルタヘナ法に基づく第一種使用規程が承認された遺伝子組換え樹木一覧（承認順）

（平成21年1月29日現在）

	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容	承認日
ギンドロ	1	高セルロース含量ギンドロtrg300-1（*AaXEG2*, *Populus alba* L.)【独立行政法人林木育種センター】	隔離ほ場での試験等	2007年3月20日（使用期間：2007.3.22～2011.12.31）
	2	高セルロース含量ギンドロtrg300-2（*AaXEG2*, *Populus alba* L.)【独立行政法人林木育種センター】	隔離ほ場での試験等	2007年3月20日（使用期間：2007.3.22～2011.12.31）
1	2		2	

注：表の最下欄の値は、各項目の合計件数を示すものです。

参考：承認された遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス（J-BCH）のLMO関連情報（http://www.bch.biodic.go.jp/bch_3.html）から検索できます。